

# ～問題に答えて君もシークイン～ ホッキョクグマ・アザラシへ 回答・解説

なまえ **マルヤマン (円谷 満)**

だい もん  
第1問

野生のホッキョクグマが棲んでいる場所は？

解説：ホッキョクグマが棲んでいる場所は、ユーラシア大陸や北アメリカ大陸などの寒さが厳しい北極圏です。

(動物園だより 97号より) **①北極圏**

だい もん  
第2問

野生のホッキョクグマが主に食べるものは？

解説：野生のホッキョクグマは主にアザラシを食べていますが、魚や鳥やベリー類の果実なども食べます。ペンギンは北極圏には棲んでいないため、食べることはありません。

こたえ **③アザラシ**

だい もん  
第3問

ホッキョクグマの毛の色は何色？

解説：ホッキョクグマの毛は透明になっており、毛の中が空洞になっています。透明で空洞になっている毛は、寒さが厳しい北極圏で体の熱を外に逃がさないようにすることができ、水に浮かびやすくしています。

こたえ **②透明**

だい もん  
第4問

ホッキョクグマの学名は？

解説：学名は、ラテン語で作られた世界共通の名前のことです。①はヒマラヤグマ、②はヒグマ、③はホッキョクグマです。

こたえ **③ *Ursus maritimus***

だい もん  
第5問

ホッキョクグマの数が減っている動物です。数が減っているのはなぜ？ (考えよう)

解説：ホッキョクグマは地球温暖化、狩猟や環境汚染(水質汚濁)などの影響により、世界から数が減ってきています。狩猟や環境汚染は、国で管理や規制が少なくなってきていますが、地球温暖化による脅威はいまだに抑えることができていません。地球温暖化はホッキョクグマが主に活動している海氷ができる時期を遅らせ、溶ける時期を早めてしまい、ホッキョクグマがアザラシを捕まえる機会が減り、生きることが難しくなります。

こたえ **地球温暖化・狩猟・環境汚染**

だい もん  
第6問

ホッキョクグマの赤ちゃんの重さは？

解説：ホッキョクグマは陸上最大の肉食動物ですが、生まれてくる子どもは母親のおなかの中で60日間と短い期間で大きくなって生まれてくるため、体重が約500～600g程度しかありません。

こたえ **500～600** グラム

だい もん  
第7問

ゼニガタアザラシの模様は？

解説：ゼニガタアザラシは、体の模様が昔の日本で使われていた穴のあいたお金の形(古銭)に似ていたことで名前が付けられたと考えられています。生まれたばかりのゼニガタアザラシの子どもは白い体ではなく、親と同じような古銭模様をしています。

こたえ **③古銭模様**

だい もん  
第8問

ゼニガタアザラシは何の上で赤ちゃんを産むでしょう？

解説：アザラシの仲間は流水がなくなった場合は南極や北極圏へ移動しますが、ゼニガタアザラシは、日本で唯一定住するアザラシで、赤ちゃんを産む際に流水を使わず、岩の上で出産します。

こたえ **岩**

だい もん  
第9問

ゴマファアザラシの赤ちゃんが白いのはなぜ？

解説：ゴマファアザラシの子どもは白い毛で体が覆われており、周りの景色に身を隠すことで、外敵から身を守っています。

こたえ **外敵から身を守るため**